

平成29年度 日本学術会議公開シンポジウム

# イノベーションプラットフォームとしての バイオマテリアル2017

共催 日本バイオマテリアル学会

バイオマテリアル研究の対外的存在意義、関連産業形成、人材育成は他の研究分野・産業分野と比較して更に深刻な退縮的状况に陥っていると分析される。そこに至った根源的問題を正しく理解することによって、初めておかれた逆境を新しいフレームワーク形成のモデルケースとするための発想の転換が可能になる。また、従来からの研究組織、産学連携、研究費配分のための評価方法など研究開発にかかる制度全般に亘って施策の検証を実施し、それに対する真摯な反省にたった全ての制度や枠組みに関する戦略の新たな策定による抜本的改革の推進が不可欠である。本シンポジウムでは、バイオマテリアル研究の現状に鑑みた研究戦略について議論し、将来の我が国のバイオマテリアル研究戦略を策定する道筋を探る。

平成29年11月21日(火)9:30~12:00

## タワーホール船堀5階小ホール

(都営新宿線船堀駅前:東京都江戸川区船堀4-1-1)

日本バイオマテリアル学会第39回大会の会場ですが、どなたでも参加できます。

参加無料

参加申込み  
不要

### プログラム

●AMEDにおける医療機器研究開発の支援とバイオマテリアル開発に対する期待

扇谷 悟(国立研究開発法人日本医療研究開発機構 産学連携部医療機器研究課上席調査役)

●整形外科医からみたバイオマテリアル研究の方向性  
岩崎倫政(北海道大学大学院医学研究院教授)

●国際的視点からみたバイオマテリアル研究のあり方  
片岡一則(公益財団法人川崎市産業振興財団副理事長)

●日本学術会議提言 超スマート社会実現による健康寿命延伸のための材料  
戦略ー医療を支えるバイオマテリアル研究に関する提言ー

岸田晶夫(東京医科歯科大学学生体材料工学研究所教授)

由井伸彦(東京医科歯科大学学生体材料工学研究所教授)

●総合討論